

～あいち防災協働社会推進協議会からのお知らせ～

家具や書庫等の転倒防止対策

チェック欄

タンス・棚・書庫

L字金具などで固定します。支え棒を使用する場合は壁側の位置に設置し、免震ゴムを家具手前側に入れるとよいでしょう。

上段と下段に分かれたキャビネットなどは、つなぎ目を金具で固定します。

両開き扉タイプの食器棚などは、扉が開かないように止め金具を付けます。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

テレビ

家具の上などには、置かず、できるだけ低い位置に置いて固定します。

額縁

チェーンや金具でしっかりと固定します。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

照明器具

つり下げ式の照明器具については、チェーンと金具で数か所固定します。また、蛍光灯は、蛍光灯の両端を耐熱性のテープで止めておきます。

冷蔵庫

粘着テープを使用した、転倒防止用の専用ベルトが市販されています。また、チェーン等で固定できるように、上側にフックがついている場合があります。

暖房機器

対震自動消火装置付きのストーブを使用し、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

玄関・ブロック塀

玄関や縁側など、外への避難路となるところは、家具の転倒などでふさがれないよう、配置を工夫します。ブロック塀のあるご家庭は、傾きやひび割れ、破損がないか点検しましょう。

ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻き付け、太めの柱に取り付けた金具に連結し、しっかりと固定します。脚には専用のすべり止め器具を付けましょう。和室用と洋室用の両方が市販されています。

窓

ガラス面に飛散防止フィルムを貼ります。

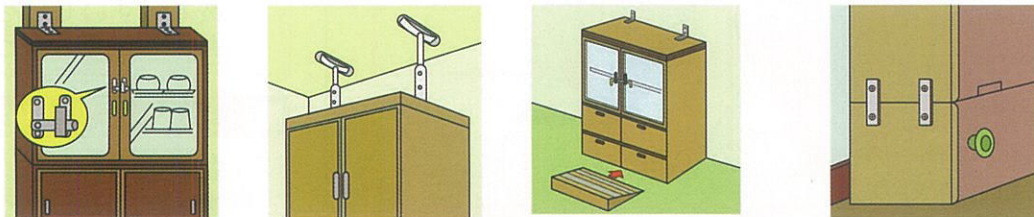
◎ 一度、ご家庭での家具等の転倒防止対策をチェックしてみましょう！！

家具や書庫等の転倒防止

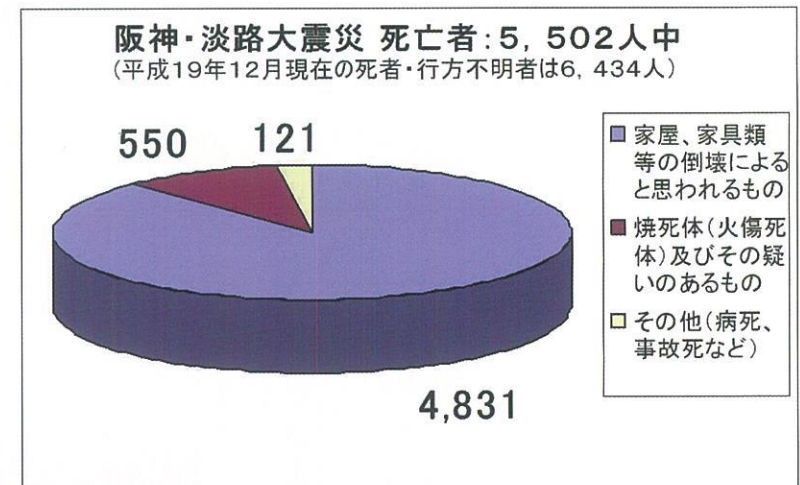
～あいち防災協働社会推進協議会 推進テーマ～

平成23年3月に発生しました東日本大震災では津波被害が甚大であり、家屋の倒壊や家具等の転倒による被害が少なく、余りクローズアップされませんでした。地震に対する事前の備えの中で、家具等の転倒防止は家庭や職場でできる効果の高い取組です。あいち防災協働社会推進協議会では、平成22年度から推進テーマとして「家具や書庫等の転倒防止」を掲げ、県民運動として取組を進めています。

東海・東南海・南海地震はいつ発生するかわかりません。家具の転倒・落下によってケガをしたり、倒れた家具が出入り口をふさいで避難できなくなってしまうように、日頃から家具の固定をしたり、配置を工夫したりして地震に備えましょう。



愛知県では、地震防災に関する施策を総合的・計画的に推進するため、「第2次あいち地震対策アクションプラン」を策定し、地震被害の半減をめざしています。



平成7年に警察庁がまとめた資料では、阪神・淡路大震災の死者のうち88%、約9割の人は、家屋・家具類等の倒壊によると言われてています。